令和９年度

学 生 募 集 要 項

《 一 般 選 抜 》

インターネット出願について
本要項を確認し、以下のサイトより出願を行って下さい。
滋賀県立大学インターネット出願サイト
（https://e-apply.jp/ds/usp/）

冊子での学生募集要項の配布は行いませんので、本学のWeb サイトから閲覧またはダウンロードしてください。

滋賀県立大学
THE UNIVERSITY OF SHIGA PREFECTURE

個人情報の取り扱いについて

本学が入学者選抜等で取得する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」ならびに「公立大学法人滋賀県立大学個人情報の保護等に関する規程」等により関係法令を遵守し、次の業務で利用します。

①出願に当たって取得した個人情報は、入学者選抜（出願処理、受験票発送、試験実施、成績処理等）、合格通知、入学手続案内、入学者選抜方法の調査・研究等の入試事務および付随する業務に利用します。また、入学者選抜で用いた試験成績等の個人情報は、入学者選抜方法の検討や大学教育の改善のための調査・研究、入試情報の提供に関する業務を行うために利用します。ただし、調査研究結果の発表および入試情報の提供に関しては、個人が特定できないように処理します。
②合格者のみ入学に伴う教務事務（学籍、修学指導等）、学生支援事務（健康管理、奨学金申請、後援会等）、授業料等の収納事務および付随する業務に利用します。
③上記事務処理の一部を外部に委託し、個人情報を受託業者に提供した場合は、関係法令等により、個人情報の漏えい、滅失またはき損の防止、その他個人情報の適切な管理に必要な措置に万全を期します。
④国公立大学の分離分割方式による合格および追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名および大学入学共通テストの受験番号に限って、合否および入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センターおよび併願先の国公立大学に送達されます。

連絡先・問合先

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

滋賀県立大学入学試験実施本部（事務局教務課入試室）

TEL 0749-28-8217、8243

FAX 0749-28-8267

E-mail nyushi@office.usp.ac.jp

Web サイト 最新の情報は、Web サイトから確認してください。

滋賀県立大学入試情報サイト
https://www.usp.ac.jp/nyushi/

スマホ・携帯電話サイト（大学情報センター）
https:// daigakujc.jp/usp/
出願状況速報・合格者受験番号案内 など

目　　次

大学の目標・教育の特色 ・・・・・・・・・・・ 1

Ⅰ　学生受入方針（アドミッション・ポリシー） ・・・・・・・・・・・ 2～

Ⅱ　入学定員と募集人員 ・・・・・・・・・・・ 16

Ⅲ　一般選抜 ・・・・・・・・・・・ 17

１　出願資格 ・・・・・・・・・ 17
２　選抜方法 ・・・・・・・・・ 18
(1)選抜方法について ・・・・・・・・・ 18
(2)選抜期日 ・・・・・・・・・ 18
(3)個別学力検査等時間割 ・・・・・・・・・ 19
大学入学共通テストおよび個別学力検査等の教科・科目、配点等 ・・・ 21
３　出願手続 ・・・・・・・・・ 29
４　受験票のダウンロードおよび印刷 ・・・・・・・・・ 33
５　試験場 ・・・・・・・・・ 33
６　受験上の注意事項 ・・・・・・・・・ 33
７　合格発表 ・・・・・・・・・ 34
８　試験結果の簡易開示 ・・・・・・・・・ 34
９　試験結果の一般開示 ・・・・・・・・・ 35

Ⅳ　入学手続、初年度納付金等 ・・・・・・・・・・・ 37～
１　入学手続 ・・・・・・・・・ 37
２　初年度納付金 ・・・・・・・・・ 38
３　その他 ・・・・・・・・・ 39

インターネット出願の流れ ・・・・・・・・・・・ 40～

大　学　の　目　標

滋賀県立大学は、滋賀県における学術の中心として、未来を志向した高度な学芸と、悠久の歴史や豊かな自然、風土に培われた文化を深く教授研究するとともに、新しい時代を切り拓く広い視野と豊かな創造力、先進的な知識、技術を有する有為の人材を養成することを目的としています。

また、開かれた大学として、県民の知的欲求に応える生涯学習の機会の提供や地域環境の保全、学術文化の振興、産業の発展、人間の健康など、滋賀県の持続的発展の原動力として大きく寄与することを使命としています。

この大学設置の基本理念を踏まえ、次の基本的な目標を定めています。

・「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」という開学当初からのモットーをより一層発展させ、琵琶湖を抱く滋賀ならではの教育研究をさらに進めます。
・時代の流れを先取りし、先駆的・戦略的なものの見方ができる、進取の気性に富む人が育つ大学づくりを進めます。
・グローバル化の進展等による国際化の諸問題に対応する新しい時代に向けたモデルとなる大学を目指します。

教　育　の　特　色

（1）４年一貫教育

より確かな知識と技術の修得を目指し、各学部別にその目的に従った個性的な教育を系統的に実施するため、専門科目を４年間にわたって一貫して編成する完全な４年一貫教育を実施します。これにより、それぞれの学部に入学した学生は、１年次から専門分野の講義を受けることができます。

（2）目標を明確にした基礎教育の重視

全学部に共通する全学共通基礎科目、学部の専門的な共通基礎科目、および学科の基礎科目が、すべて各学部・学科の教育目標に合わせて選ばれており、最も適切な年次に学ぶことができるようになっています。

（3）人間を深く見つめる「人間学」

全学共通科目の中で、人間・環境・社会・文化を知る「人間学」が４年間いつでも履修できます。目まぐるしく変化する現代社会の中で、人間と環境、社会、文化を深く理解し、人間というものを深く見つめ、生き方を探るのが「人間学」です。人間探求学を１年次の必修とし、入門・概説ではなく、現実の問題に立論して、ひとつの見解に達するまでのプロセスを追求する様々な科目を選択科目としています。

（4）変革力を身につける「地域教育」

地域と大学が人材を共育し、地域を共創する自立圏域「びわ湖ナレッジ・コモンズ」の形成をめざし、地域課題に対する教育・研究・社会貢献に取組んでいます。

地域教育では、全学共通科目の地域基礎科目、各学部学科の地域志向専門科目、全学部生が選択可能な地域学副専攻を通して地域課題とその解決法について体系的に学び、コミュニケーション力、構想力および実践力を兼ね備えた変革力を身につけることを目指します。

（5）少人数による対話・討論型の授業

教員と学生の日常的な触れ合いを重視するという基本方針のもとに、フィールドワークや実験・実習などにおいて、少人数による対話・討論型の授業が多くあります。

例えば、１年次の必修科目である「人間探求学」は、学科ごとに５、６名のグループに分け、大学で学ぶために必要な能力を養うことをねらいとし、教育の原点である人間と人間のふれあいの機会を提供しています。

（6）他学部・他学科の履修

学生の多様な学習意欲に応えるために、学部・学科の多様性を生かし、他学部、他学科で修得した単位を卒業単位として認定し、より幅の広い人材の育成を目指します。

Ⅰ　学生受入方針（アドミッション・ポリシー）

滋賀県立大学の受入方針

滋賀県立大学は、環境科学部、工学部、人間文化学部、人間看護学部の４学部からなり、「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」をモットーに、「環境」と「人間」をキーワードにした「人が育つ」大学として、平成７年（1995 年）に設立されました。琵琶湖に隣接し、緑豊かな自然環境のなかで、近江の歴史や多様な文化・産業を背景に、「地域に根ざし、地域に学ぶ」実践的教育が展開されています。

滋賀県立大学の学生は各学部・学科が掲げている人材養成の目標に向かって、体系的に配置された授業科目を段階的に学びながら自己形成に努めます。この教育目標を達成するために、必要な基礎学力を基盤にして、主体的に学び、自らの将来像の実現を目指そうとする意欲的な学生を求めます。そのため、滋賀県立大学では主に次の３種類の入学試験を行っています。

（１）一般選抜・前期日程（大学入学共通テスト、個別学力試験、志望理由書等を併用した、幅広い基礎知識、思考力および主体性等についての選抜試験）

（２）一般選抜・後期日程（大学入学共通テスト、学科の専門を反映させた個別試験、志望理由書等を併用した、専門分野に関わる知識、技能、表現力および主体性等についての選抜試験）

（３）特別選抜（学校推薦型選抜 A、B、C、D）（総合問題、実技試験あるいは大学入学共通テストと面接を併用した、学力および主体性等についての選抜試験）

さらに、特別選抜（帰国生徒特別選抜、私費外国人留学生特別選抜）を実施し、多様な学生の受け入れに努めています。

環境科学部環境生態学科

環境生態学科は、自然科学に関する専門知識と技術を基盤として、人と自然が複雑に関わりあうなかで生じる環境問題を発見し、その科学的な解決法を主体的かつ積極的に提案できる人材の育成を目指しています。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

１．求める学生像

① 自然環境に対する知的好奇心や探究心と、環境問題に対する強い関心を持ち、自ら積極的に学ぶ意欲を有する人（関心・意欲）
② 自然科学に関する専門知識と技術を身につけるために必要な基礎学力を有する人（知識・理解）
③ 課題解決に取り組むために必要な高い洞察力と論理的かつ柔軟な思考を有する人（思考力・判断力）
④ 美しくも厳しい自然のなかで行われる環境調査を途中で投げ出さず最後までやりきるための努力を惜しまない人、すなわち、たくましくしなやかな人間性を有する人（持続力・集中力）

２．入学者選抜の基本方針

環境生態学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高校教育や日常生活によって培われた論理的思考力・判断力、自然環境への関心、学ぶ意欲、主体性など、本学科への適応性についても評価します。このため、一般選抜（前期日程・後期日程）と特別選抜を実施し、それぞれ、大学入学共通テスト、個別学力試験（小論文)、個別面接の中から２つを組み合わせて課します。

３．選抜方法

【一般選抜（前期日程、後期日程)】

一般選抜（前期日程、後期日程）では、環境科学を学ぶ上で必要となる基礎学力に加え、自然科学に関する知識と論理的思考力を重視します。このため、大学入学共通テスト（国語・地歴公民・数学・理科・英語・情報）と個別学力試験（小論文）を課します。また、自然環境への関心、学ぶ意欲、主体性など、本学科への適応性を評価するため、志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜)】

特別選抜（学校推薦型選抜 A、C）では、環境科学を学ぶ上で必要となる基礎学力に加え、自然環境への関心、学ぶ意欲、主体性など、本学科への適応性を評価します。このため、大学入学共通テスト（国語（※近代以降の文章のみ)・地歴公民・数学・理科・英語・情報）と個別面接を課します。

環境科学部環境社会システム学科

環境社会システム学科では、環境と調和した社会を形成するために、社会を形成している企業、政府、市民の行動を環境調和型に変革していく、豊かなコミュニケーション力および議論による問題解決力を身につけた人材を養成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

１．求める学生像

① 人間社会と自然環境の広い範囲（環境社会システム）にわたって関心を有する人（興味・関心・意欲）
② 環境社会システムについて学ぶ上で必要な国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報の基礎学力を有する人（知識・理解）
③ 見出された問題の解決に向けて、論理的に思考できる基礎力を有するとともに、グループワーク等における討議の場に参加でき、与えられた課題に対して論理的に議論でき、リーダーシップを発揮できる素養を有する人（思考力・判断力・主体性）

２．入学者選抜の基本方針

環境社会システム学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力・主体性を重視します。さらに、高校教育や日常生活によって培われた、興味・関心・意欲についても評価します。このため、一般選抜（前期日程と後期日程）と特別選抜を実施します。

３．選抜方法

【一般選抜（前期日程)】

一般選抜（前期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、思考力・判断力を評価します。このため、大学入学共通テスト（国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報）と個別学力試験（英語あるいは数学）を課します。また、興味・関心・意欲・主体性を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【一般選抜（後期日程)】

一般選抜（後期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、思考力・判断力と興味・関心・意欲を評価します。このため、大学入学共通テスト（国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報）と個別学力試験（小論文あるいは数学）を課します。また、興味・関心・意欲・主体性を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜)】

特別選抜（学校推薦型選抜 A、C）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、興味・関心・意欲と思考力・判断力・主体性を評価します。このため、大学入学共通テスト（国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報）と個別面接（口頭試問を含む）を課します。

環境科学部環境建築デザイン学科

環境建築デザイン学科では、持続可能な社会の建設のために、建築学を基礎に、建築を巡る環境や地域が抱える問題を発見、理解し、解決する能力を有する人材を育成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

１．求める学生像

① 高度な専門知識を身につけるために必要な数学、理科、英語、国語、地理歴史・公民・情報の基礎学力を有する人（知識・理解）

② 環境建築デザインや地域社会の創造に強い関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲を持つ人（関心・意欲）

③ 都市、地域、景観、防災、資源、エネルギー、世界規模の問題まで広範な関心を持ち、人と協調する力を有する人（協働性）

④ 見出された問題に対して論理的に思考し、その解決に向けて創造する基礎力を有する人（思考力・判断力・表現力）

２．入学者選抜の基本方針

環境建築デザイン学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高校教育や日常生活によって培われた関心・意欲、協働性、思考力・判断力・表現力についても評価します。このため、一般選抜（前期日程・後期日程）と特別選抜（学校推薦型選抜 A、C）を実施し、それぞれ大学入学共通テスト、個別学力試験、造形実技試験、個別面接（口頭試問を含む）の中から複合的に課します。

３．選抜方法

【一般選抜（前期日程）】

一般選抜（前期日程）では確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を評価します。このため大学入学共通テスト（国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報）と個別学力試験（数学）を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【一般選抜（後期日程）】

一般選抜（後期日程）では確かな基礎学力（知識・理解）に加え、思考力・判断力・表現力を評価します。このため大学入学共通テスト（国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報）と造形実技試験を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜）】

特別選抜（学校推薦型選抜 A）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、関心・意欲、協働性を評価します。このため大学入学共通テスト（国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報）と個別面接（口頭試問を含む）を課します。

特別選抜（学校推薦型選抜 C）では、関心・意欲、協働性、思考力・表現力を総合的に評価します。このため個別面接（口頭試問、プレゼンテーションを含む）を課します。

環境科学部生物資源管理学科

生物資源管理学科では、動植物の生産や病害虫からの保護、土壌・水資源の保全と活用、生物機能を利用した物質生産や環境改善など、農林水産業に関わる生物資源の管理と活用に関する基本的な知識と技術を有する人材を養成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

１．求める学生像

① 高度な専門的知識を身につけるために必要な理科、数学、外国語等の基礎学力を有する人（知識・理解）
② 農林水産業や地域環境に強い関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲を持つ人（関心・意欲）
③ 地域社会から世界規模の問題まで広範な関心を持ち、人と協力してそれらの問題を解決する力を有する人（関心・協働性）
④ 見出された問題の解決に向けて論理的に思考できる基礎力を有する人（思考力・判断力）

２．入学者選抜の基本方針

生物資源管理学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高校教育や日常生活によって培われた思考力・判断力、関心・意欲、協働性についても評価します。このため、一般選抜（前期日程、後期日程）と特別選抜を実施し、それぞれ大学入学共通テスト、グループ面接、個別面接（口頭試問を含む）の中から２つを組み合わせて課します。

３．選抜方法

【一般選抜（前期日程・後期日程)】

一般選抜では、確かな基礎学力（知識・理解）と、思考力・判断力、協働性を重視します。このため、大学入学共通テスト（国語・数学・英語・理科・地歴公民 (※前期日程のみ)・情報）とグループ面接を課します。また、生物資源管理学科で学ぶことに対する関心・意欲を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜)】

特別選抜（学校推薦型選抜 A）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、関心・意欲、思考力・判断力、協働性を評価します。このため、大学入学共通テスト（数学・情報・英語・理科）と個別面接（口頭試問を含む）を課します。

工学部材料化学科

材料化学科は、環境と調和した持続可能な人間社会の構築を目指し、科学技術に裏打ちされた材料の進歩に貢献できる、研究者・技術者の養成を目指しています。そのため本学科では、学問の基礎の理解と実験や演習などの実践を重視し、無機から有機までの幅広い物質、新エネルギー材料や環境材料などの様々な用途について、基礎から応用にわたる多面的な教育・研究を行い、“モノづくり”や新材料に興味を持ち、自己の能力向上に努める人材の育成を行います。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

１．求める学生像

① 無機から有機までの幅広い物質、新エネルギー材料や環境材料などの様々な領域に強い関心と学びに対する意欲があり、自らの明確な目標設定を継続して行える素養を有する人（関心・意欲）

② 数学、理科（物理と化学)、国語、英語、地理歴史・公民、情報の科目に関して、材料に関する研究者・技術者となるための専門的内容と判断力の修得に必要な高等学校理系卒業レベルの学力を有する人（知識・理解）

③ 今までに得た知識・教養・経験を組み合わせ考える力（応用力）を持ち、また材料開発や新たな現象を類推する力（創造力）の素地があり、科学に対する思考を深めて適切に判断できる能力を伸ばす素養を有する人（思考力・判断力）

④ 問題解決のために、積極的に討議の場に参加でき、与えられた課題に対して論理的に相手を説得でき、リーダーシップを発揮する素養を有する人（積極性・論理的説得力・リーダーシップ力）

⑤ 主体的に他の人と協働して課題解決に向けた取り組みができ、得られた成果あるいは自分の考えについて自らの言葉で的確に表現し、相手に伝える能力を伸ばす素養を有する人（主体性・協働力・表現力）

２．入学者選抜の基本方針

材料化学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高等学校教育や日常生活によって培われた関心・意欲・思考力・判断力・積極性・論理的説得力・主体性・協働力・リーダーシップ力・表現力についても評価します。このため、一般選抜（前期日程・後期日程）と特別選抜（学校推薦型選抜 A、B、C）を実施し、それぞれ大学入学共通テスト、個別学力試験、グループ討論、個別面接（口頭試問を含む）のいくつかを組み合わせた入学試験を課します。また、学生の多様性確保のため、学校推薦型選抜Ａに女子枠を設けます。

３．選抜方法

【一般選抜（前期日程・後期日程)】

一般選抜では、確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力・積極性・論理的説得力・主体性・協働力・リーダーシップ力・表現力を重視します。このため、大学入学共通テスト [国語・数学・英語・理科（物理、化学)・地歴公民・情報] と個別学力試験 [数学] に加え、グループ討論を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜)】

特別選抜（学校推薦型選抜 A、B、C）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、関心・意欲、主体性・協働力、思考力・判断力・表現力を評価します。このため、大学入学共通テストと個別面接（口頭試問を含む）を課します。大学入学共通テストでは、特別選抜（学校推薦型選抜 A、C）で国語・数学・英語・理科（物理、化学)・地歴公民・情報を、特別選抜（学校推薦型選抜 B）で国語・数学・英語・理科（物理、化学)・情報をそれぞれ課します。

工学部機械システム工学科

機械システム工学科は、機械工学の基礎とシステム的なセンスを備え、高機能な機械を設計・開発でき、柔軟な発想能力の備わった技術者の養成を目指しています。そのために、機械工学の基幹となる熱力学、流体力学、材料力学、機械力学に、制御工学、情報処理基礎、メカトロニクス、生産工学などの幅広い科目を加え、さらに多くの演習や実験を取り入れたカリキュラムによって、基礎から応用にわたる多面的な教育を行います。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

１．求める学生像

① 機械とそのシステム、力学、ものづくり、ならびにこれらと自然環境、社会、人間との関わりに強い関心を持ち、自己の能力向上に対する意欲を持つ人（関心・意欲）

② 機械システム工学を学び活用し、様々な人と協力して社会に貢献することに主体的に取り組もうという意欲のある人（主体性・協働力）

③ 機械システム工学を学び、この分野の課題に取り組む能力を身につけるために必要となる、高等学校の数学および物理の知識を備え、その知識に基づいた理解力と思考力のある人（知識・理解，理解力・思考力）

④ 基礎学力として、高等学校で履修する国語、英語、地歴公民、化学、情報において、高等学校理系卒業レベルの学力を備えている人（知識・理解）

⑤ 知識・教養・経験を組合せて適切に思考・判断して、その結果や自分の考えを相手に伝えることができる素養を有する人（思考力・判断力・表現力）

２．入学者選抜の基本方針

機械システム工学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、確かな基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高等学校教育や日常生活によって培われた思考力・判断力・表現力、関心・意欲、主体性・協働力についても評価します。このため、一般選抜（前期日程・後期日程）と特別選抜（学校推薦型選抜 A、B、C）を実施し、それぞれ大学入学共通テストと個別学力試験、大学入学共通テストと個別面接（口頭試問を含む）を課します。また、学生の多様性確保のため、学校推薦型選抜Ａに女子枠を設けます。

３．選抜方法

【一般選抜（前期日程・後期日程)】

一般選抜では、幅広い分野の確かな基礎学力（知識・理解）を重視します。また、これに加えて思考力・判断力、主体性・協働力も評価します。このため、大学入学共通テスト [国語・数学・英語・理科（物理、化学）・地歴公民・情報]、個別学力試験[数学]を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜)】

特別選抜（学校推薦型選抜 A、B、C）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性・協働力を評価します。このため、大学入学共通テストと個別面接（口頭試問を含む）を課します。まず、大学入学共通テストでは、特別選抜（学校推薦型選抜 A、C）で国語・数学・英語・理科（物理、化学）・地歴公民・情報を、特別選抜（学校推薦型選抜 B）で国語・数学・英語・理科（物理）・情報をそれぞれ課します。

工学部電子システム工学科

電子システム工学科は、電気・電子・情報工学分野で基礎から応用まで幅広い知識と高度な技術をもつとともに、豊かな人間性とコミュニケーション力および問題解決力を身につけた、地域はもとより世界に通用する創造力豊かで自律した技術者の育成を目指しています。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

１．求める学生像

① 国語、地理歴史・公民、数学、理科（物理と化学)、英語・情報の科目に関して、電気・電子・情報工学分野の技術者に要求される専門知識・能力および教養を身につけるために必要となる、高等学校理系卒業レベルの基礎学力を有する人（知識・理解）

② 電気・電子・情報工学分野の課題を設定・遂行・解決する能力を身につけるために必要となる、高等学校理系科目（数学と物理）の思考力を有する人（思考力・判断力）

③ 自律した技術者に求められる情報伝達・発信力と協働力を身につけるために必要となる、基礎的なコミュニケーション力・態度を有する人（協働性・主体性）

④ 電気・電子・情報工学分野に夢や魅力を感じ、基礎から応用まで幅広い素養を身につけて積極的に活躍していきたい人、知的好奇心をもって常に新しいことに挑戦し、専門分野を通して積極的に社会に貢献していきたい人（関心・意欲）

２．入学者選抜の基本方針

電子システム工学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高等学校教育や日常生活で培われた「思考力・判断力」と「協働性・主体性、関心・意欲」のどちらかについても評価します。このため、一般選抜（前期日程、後期日程）と特別選抜（学校推薦型選抜 A、B、C）を実施し、大学入学共通テストおよび個別学力試験と個別面接（口頭試問を含む）のどちらかを組み合わせた試験を課します。また、学生の多様性確保のため、学校推薦型選抜Ａに女子枠を設けます。

３．選抜方法

【一般選抜（前期日程・後期日程)】

一般選抜では、高等学校理系卒業レベルの確かな基礎学力（知識・理解）と数学および物理の深い思考力・判断力、および協働性・主体性を評価します。このため、大学入学共通テスト [国語・数学・英語・理科（物理、化学)・地歴公民・情報] と個別学力試験 [数学]を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜)】

特別選抜（学校推薦型選抜 A、B、C）では、高等学校理系卒業レベルの確かな基礎学力（知識・理解）と協働性・主体性、関心・意欲を評価します。このため、高等学校等での学習内容にも考慮しながら、大学入学共通テスト [国語・数学・英語・理科（物理、化学)・地歴公民・情報]と個別面接（口頭試問を含む）を課します。

人間文化学部地域文化学科

地域文化学科では、日本、特に近江の歴史・文化・社会、およびアジアとの交流に強い関心をもちながら自ら行動し、社会貢献の一環として学んだことを地域に還元し、科学的な目で地域を見つめてこれからの地域のありかたを探求する意欲を持ち、問題解決能力をもって独創的な発想ができる人材を養成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

１．求める学生像

① 地域社会の過去と現在の諸問題を学ぶために必要な基礎学力を有する人（知識・理解）
② 地域社会の諸問題について、学んだことをふまえて論理的に考え、判断する基礎力のある人（思考力・判断力）
③ 歴史・文化・社会に強い関心を持ち、自ら学ぶ強い意欲をもつ人（関心・意欲）
④ ローカルな問題からグローバルな問題まで広い関心をもち、自らの考えを相手に伝え、多様な人々と交流できる人（表現力・協働性）

２．入学者選抜の基本方針

地域文化学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高校教育や日常生活によって培われた思考力・判断力、関心・意欲、表現力、協働性についても評価します。このため、一般選抜（前期日程・後期日程）と特別選抜（学校推薦型選抜）を実施し、それぞれ、大学入学共通テスト、個別学力試験、総合問題、個別面接（口頭試問を含む）を組み合わせて課します。

３．選抜方法

【一般選抜（前期日程)】

一般選抜（前期日程）では確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を重視します。このため、大学入学共通テスト（数学/理科/情報から１教科と国語・外国語・地歴公民）と個別学力試験（国語・英語）を課します。また、主体性等の評価に際しては、「求める学生像」をふまえて自ら記載した志望理由書等を参考資料とします。

【一般選抜（後期日程)】

一般選抜（後期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、思考力・判断力・表現力を評価します。このため、大学入学共通テスト（国語/数学/理科/情報から１教科と外国語・地歴公民）と個別学力試験として小論文を課します。また、主体性等の評価に際しては、「求める学生像」をふまえて自ら記載した志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜)】

特別選抜（学校推薦型選抜 A、 C）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、関心・意欲・協働性を評価します。このため、総合問題（英語、文系総合問題）と個別面接（口頭試問を含む）を課します。

人間文化学部生活デザイン学科

生活デザイン学科では、人間に身近な生活環境の問題を発見し、その解決策を考え、社会に活躍できる人の育成を目指しています。この教育理念に沿って、住居、道具、服飾、構想のデザインの理論と実践を学び、身近な生活環境を観察･分析して問題を発見し､その解決策を造形的･論理的に表現できる能力を身につけます。地域はもとより広く社会の発展に貢献できる人材の育成を教育目標に掲げ、この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

１．求める学生像

① 高度な専門知識を身につけるための基礎学力を持っている人（知識・理解）
② 柔軟かつ論理的に問題を解決する基礎力を持っている人（思考力・判断力）
③ 身近な生活環境に対する関心と観察力を持っている人（興味・関心、観察力）
④ 表現行為に興味を持ち主体的に創意工夫のできる人（表現力）
⑤ 積極的行動力を身につけるための基礎力を持っている人（行動力）

２．入学者選抜の基本方針

生活デザイン学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに高校教育や日常生活によって培われた、思考力・判断力、興味・関心、観察力、表現力、行動力についても評価します。このため一般選抜（前期日程と後期日程）と特別選抜を実施し、大学入学共通テスト、個別学力試験、個別実技試験、個別面接（口頭試問を含む）を課します。

３．選抜方法

【一般選抜（前期日程)】

一般選抜（前期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を重視します。このため、大学入学共通テスト（国語・外国語・地歴公民と数学/理科/情報から２教科）と個別学力試験[英語・国語（近代以降の文章）]を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【一般選抜（後期日程)】

一般選抜（後期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）と観察力、表現力を重視します。このため、大学入学共通テスト（国語/数学/理科/地歴公民/情報から３教科と外国語）と個別実技試験（デッサン）を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜)】

特別選抜（学校推薦型選抜 A、C）では、確かな基礎学力（知識・理解）と興味・関心、行動力を重視します。このため、大学入学共通テスト（国語/数学/理科/地歴公民/情報から３教科と外国語）と個別面接（口頭試問を含む）を課します。

人間文化学部生活栄養学科

生活栄養学科は、科学的根拠に基づいた適切な栄養管理・食生活が健康に寄与することを基盤として、人々の健康に貢献する人材の育成を目的としています。そのため本学科では、学問の基礎の理解と実験・実習を重視し、栄養学の基礎から応用、実践にわたる体系的、多面的な教育・研究を行っています。これにより、栄養学に関する専門知識・技術を有し、管理栄養士として医療、保健、福祉、健康、スポーツ、教育、研究などの分野で活躍する人材の育成を行います。さらには、卒業後に大学院等で学ぶことにより、高度な専門知識・技術を有し、将来、リーダーとして活躍する管理栄養士、教育者、研究者になることを期待しています。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

１．求める学生像

① 生命科学および栄養学に基づいた食、栄養、運動、健康の関わりに強い関心を持ち、自己の能力向上に対する意欲ならびに将来、管理栄養士として社会貢献する意欲のある人（関心・意欲）
② 協働作業で自分の役割を理解し、積極的に実行することができる人（協働性）
③ 本学で生命科学および栄養学を学ぶために必要な基礎学力を有する人（知識・理解）
④ 今までに得た知識・教養・経験を組合せて論理的に思考を深め、その思考に基づいて適切に判断し、その結果や自分の考えを相手に伝える力を有する人（思考力・判断力・表現力）

２．入学者選抜の基本方針

生活栄養学科の入学試験では、高等学校までの教育過程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに高校教育や日常生活によって培われた、関心・意欲、協働性、思考力・判断力・表現力についても評価します。このため一般選抜（前期日程と後期日程）と特別選抜（学校推薦型選抜 A、C）を実施し、それぞれ大学入学共通テストと個別学力試験または面接（グループ）、大学入学共通テストと面接（個別）を課します。

３．選抜方法

【一般選抜（前期日程）】

大学入学共通テストでは６教科（国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報）を課し、高等学校で身につける文科系・理科系にわたる基礎学力（知識・理解）を評価します。個別学力試験では、英語について、基礎学力（知識・理解）と表現力、読解力を評価します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【一般選抜（後期日程）】

大学入学共通テストでは６教科（国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報）を課し、高等学校で身につける文科系・理科系にわたる基礎学力（知識・理解）を評価します。加えて、面接（グループ）を課し、「意欲・関心」、「思考力・判断力」、「表現力」、「協働性」を合わせて評価します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜）】

特別選抜（学校推薦型選抜 A、C）では、大学入学共通テストでは６教科（国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報）を課し、高等学校で身につける文科系・理科系にわたる基礎学力（知識・理解）を評価します。面接（個別）では、「関心・意欲」、「表現力」、「協働性」を合わせて評価します。

人間文化学部人間関係学科

人間関係学科では、人間関係を生涯にわたって発達・変化していくものとして柔軟に捉え、自身と共同体との関わりについて考え続けるための総合的教育を行っています。入学後には、人間関係への興味・関心を持ち、さまざまな環境における人間どうしのあり方を記述し、実践的にとらえ直すことが中心課題となります。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

１．求める学生像

① さまざまな共同体で生じる問題に取り組むための基礎学力を有する人（知識・理解）
② 自他の体験を客観的に記述し、とらえ直す力を有する人（思考力･構成力）
③ さまざまな発達段階・環境における人と人との関わりに関心を持ち、自ら学ぶ強い意欲を有する人（関心・意欲）
④ 自分の考えや意見を表現し、相手に伝えるための基礎的な能力を有する人（読解力・表現力）

２．入学者選抜の基本方針

人間関係学科の選抜試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、大学生活の中で人間関係のあり方を記述しとらえ直すための関心・意欲、思考力、表現力を選抜基準とします。このため、一般選抜（前期日程・後期日程）と特別選抜を実施し、それぞれ、大学入学共通テスト、個別学力試験、総合問題、個別面接（口頭試問を含む）の中から２つを組み合わせて課します。

３．選抜方法

【一般選抜（前期日程)】

一般選抜（前期日程）では、高等学校までの基礎学力（知識・理解）と思考力を重視します。このため、大学入学共通テスト（理科/地歴公民/情報から２教科・国語・数学・外国語）と個別学力試験[英語・国語（近代以降の文章）]を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【一般選抜（後期日程)】

一般選抜（後期日程）では、高等学校までの基礎学力（知識・理解）と表現力、特にことばを介した構成力と読解力を重視します。このため、大学入学共通テスト（国語/数学/理科/地歴公民/情報から２教科・外国語）と個別学力試験（小論文）を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜)】

特別選抜（学校推薦型選抜 A）では、高等学校までの教育課程とともに、思考力と判断力、および柔軟な興味と関心を持つ力を重視し、総合問題（英語、文系総合問題）と個別面接（口頭試問を含む）を課します。

人間文化学部国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科は、グローバル化する現代社会において、広く活躍できる見識とコミュニケーション能力を備えた人材の育成を目標としています。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

１．求める学生像

① 英語もしくは他の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語など）について高い運用能力を身につけるために必要な語学力を有する人（知識・理解、技術・技能）
② 幅広い知識や教養の基盤となる国語、地理歴史または公民、数学、理科、情報についての基礎学力を有する人（知識・理解）
③ 自国および諸外国の社会・文化・歴史等への強い関心と学習への意欲を有する人（関心・意欲）
④ 自分の考えや意見を積極的に提示し、相手の理解を得るための基礎的な能力を有している人（表現力）
⑤ グローバル化によって発生する課題について、人々との交流を通して、自らの見解を形成しようとする姿勢を有する人（協働性）

２．入学者選抜の基本方針

国際コミュニケーション学科の入学試験では、基礎学力（知識・理解）を重視するとともに、外国語（特に英語）の運用能力（語学力）を重要な評価ポイントとします。さらに、関心・意欲、表現力、協働性についても評価します。このため、一般選抜（前期日程・後期日程）と特別選抜を実施し、それぞれ、大学入学共通テスト、個別学力試験、総合問題、個別面接（口頭試問を含む）を組み合わせて課します。

３．選抜方法

【一般選抜（前期日程)】

一般選抜（前期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を重視します。このため、大学入学共通テスト（数学/理科/情報から１教科・国語・外国語・地歴公民）と個別学力試験 [英語・国語（近代以降の文章）] を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【一般選抜（後期日程)】

一般選抜（後期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を重視します。このため、大学入学共通テスト（国語・英語・地歴公民）と個別学力試験（小論文）を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜)】

特別選抜（学校推薦型選抜 A）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、関心・意欲ならびに表現力と協働性を重視します。このため、総合問題（英語・文系総合問題）と個別面接（口頭試問を含む）を課します。

人間看護学部人間看護学科

人間看護学部では、多面的な視野に立って人間と健康に関わる問題を解決し、地域に貢献できる看護職者を育成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

１．求める学生像

① 人間に対する尊厳と関心をもち、コミュニケーション力を有する人（表現力・協調性）
② 生命、医療、看護に対して強い関心をもち、自ら学ぼうとする意欲を有する人（意欲・主体性）
③ 高度な専門的知識を身につけるために必要な確かな基礎学力を有する人（知識・理解）
④ 課題解決に向けた論理的な思考を有する人（思考力・判断力）
⑤ 地域社会から国際社会の問題まで広範な関心をもち、人と協働する力を有する人（関心・協働性）

２．入学者選抜の基本方針

人間看護学部の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高等学校での教育や日常生活により培われた意欲・主体性、表現力・協調性、関心・協働性、思考力・判断力についても評価します。このため、一般選抜（前期日程と後期日程）と特別選抜（学校推薦型選抜）を実施し、それぞれ、大学入学共通テスト、総合問題、グループ面接の中から２つを組み合わせて課します。

３．選抜方法

【一般選抜（前期日程)】

一般選抜（前期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、意欲・主体性、表現力・協調性、思考力・判断力、関心・協働性を評価します。このため、大学入学共通テスト（国語・地歴公民・数学・理科・外国語・情報）に加えてグループ面接を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【一般選抜（後期日程)】

一般選抜（後期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、意欲・主体性、表現力・協調性、思考力・判断力、関心・協働性を評価します。このため、大学入学共通テスト（国語・地歴公民・数学・理科・外国語・情報）に加えてグループ面接を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜)】

特別選抜（学校推薦型選抜 A、D）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、意欲・主体性、表現力・協調性、思考力・判断力、関心・協働性を評価します。このため、総合問題（英語、文系総合問題）に加え、グループ面接を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

Ⅱ　入学定員と募集人員

学部名	学科名	入学定員	募集人員							
			一般選抜		特別選抜					
			前期日程	後期日程	学校推薦型選抜				帰国生徒	私費外国人留学生
					A	B	C	D		
環境科学部		180	82	55	36	—	7	—	若干名	若干名
	環境生態学科	30	11	10	6	—	3	—	若干名	若干名
	環境社会システム学科	40	16	12	8	—	4	—	若干名	若干名
	環境建築デザイン学科	50	25	15	10	—	若干名	—	若干名	若干名
	生物資源管理学科	60	30	18	12	—	—	—	若干名	若干名
工学部		150	75	45	一般枠 15 / 女子枠 15	若干名	若干名	—	若干名	若干名
	材料化学科	50	25	15	5 / 5	若干名	若干名	—	若干名	若干名
	機械システム工学科	50	25	15	5 / 5	若干名	若干名	—	若干名	若干名
	電子システム工学科	50	25	15	5 / 5	若干名	若干名	—	若干名	若干名
人間文化学部		200	97	59	40	—	4	—	若干名	若干名
	地域文化学科	60	30	18	12	—	若干名	—	若干名	若干名
	生活デザイン学科	30	12	8	6	—	4	—	若干名	若干名
	生活栄養学科	30	15	9	6	—	若干名	—	若干名	若干名
	人間関係学科	30	15	9	6	—	—	—	若干名	若干名
	国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	50	25	15	10	—	—	—	若干名	若干名
人間看護学部		70	30	5	20	—	—	15	若干名	—
	人間看護学科									
計		600	284	164	126	若干名	11	15	若干名	若干名

（注）1　一般選抜の「前期日程」および「後期日程」は、分離・分割方式の区分によります。

2　「学校推薦型選抜Ａ」は、高等学校等を令和８年度中に卒業または卒業見込みの者を対象とします。

3　「学校推薦型選抜Ｂ」は、高等学校の職業に関する学科若しくは総合学科を令和８年度中に卒業または卒業見込みの者を対象とします。ただし、工業に関する科目を２０単位以上取得した者または取得見込みの者に限ります。

4　「学校推薦型選抜Ｃ」は、高等学校等を令和８年度中に卒業または卒業見込みの者を対象とし、「学校推薦型選抜Ａ」および「学校推薦型選抜Ｂ」の出願資格に付されている地域等の条件を付さないものとします。

5　「学校推薦型選抜Ｄ」は、高等学校等を令和８年度中に卒業または卒業見込みの者を対象とし、看護学に深い関心をもち、本学卒業後、滋賀県内の病院または特定施設において看護職（看護師、保健師、助産師）として６年以上就業する強い情熱と意欲を有する者（養護教諭は除く）とします。
「学校推薦型選抜Ａ」および「学校推薦型選抜Ｂ」の出願資格に付されている地域等の条件を付さないものとします。

6　「学校推薦型選抜Ａ」、「学校推薦型選抜Ｂ」、「学校推薦型選抜Ｃ」、「学校推薦型選抜Ｄ」は、他の学校推薦型選抜と併願できません。

7　特別選抜の合格者数は、試験結果によって、募集人員を下回る場合があります。

8　環境科学部（環境生態学科、環境社会システム学科）は、学校推薦型選抜A、学校推薦型選抜Cの募集区分のそれぞれにおいて、合格者が募集人員に満たない場合は、学科の学校推薦型選抜募集人員の総数に達するまで、他の区分から合格者を決定する場合があります。

9　「学校推薦型選抜A」の工学部について、一般枠・女子枠の募集区分のそれぞれにおいて、選抜の結果によっては合格者が募集人員に対し増減することがあります。また、一般枠と女子枠の併願はできません。
女子枠導入の背景やＱ＆Ａを大学ホームページ（入試情報）に掲載しています。

Ⅲ　一般選抜

１　出願資格

令和９年度大学入学共通テストのうち、本学の指定する教科・科目を受験した者で、以下の各号のいずれかに該当する者です。

(1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者

(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および令和９年３月修了見込みの者

(3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和９年３月 31 日までにこれに該当する見込みの者

具体的に上記(3)に該当する者は次のとおりです。

① 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

③ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

④ 文部科学大臣の指定した者

⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第１号） による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定規程(昭和 26 年文部省令第 13 号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

⑥ その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和９年３月 31 日までに 18 歳に達するもの

〈個別の入学資格審査について〉

上記⑥により本学への出願を希望する者は、個別の入学資格審査の手続きにより認定を行い、認定者には「滋賀県立大学入学資格認定書」を交付します。

なお、他の大学の個別の入学資格審査を受け、令和９年度大学入学共通テストに出願した者のうち、本学の指定する教科・科目を受験した者で、新たに本学の受験を希望する者については、別に本学の個別の入学資格審査（申請期日は令和９年１月 26 日（火）（午後５時必着）まで）が必要です。

審査手続きについて、詳しくは本学入学試験実施本部まで問い合わせてください。

〈問い合わせ先〉

滋賀県立大学　入学試験実施本部　TEL:0749-28-8217・8243

２　選抜方法

(1)選抜方法について

①　入学者の選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査等の成績ならびに調査書の内容を総合して行います。試験科目・面接の方法・試験時間・配点等は、21～28 ページに記載のとおりです。

　なお、大学入学共通テストで指定した教科・科目を受験しなかった場合は、出願しても失格となり、合格者となることができません。

②　大学入学共通テストと個別学力検査等の合計点で合格最低点の者が複数名同点となった場合は、志望理由書を合否判定の参考とします。その際、志望理由書は点数化せず、段階評価とします。

(2)選抜期日

学部	学科	前期日程	後期日程
環境科学部	環境生態学科	令和 9 年 2 月 25 日（木）	令和 9 年 3 月 12 日（金）
	環境社会ｼｽﾃﾑ学科	令和 9 年 2 月 25 日（木）	令和 9 年 3 月 12 日（金）
	環境建築ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	令和 9 年 2 月 25 日（木）	令和 9 年 3 月 13 日（土）
	生物資源管理学科	令和 9 年 2 月 26 日（金）	令和 9 年 3 月 13 日（土）
工学部	材料化学科	令和 9 年 2 月 25 日（木）	令和 9 年 3 月 12 日（金）
	機械システム工学科	令和 9 年 2 月 25 日（木）	令和 9 年 3 月 12 日（金）
	電子システム工学科	令和 9 年 2 月 25 日（木）	令和 9 年 3 月 12 日（金）
人間文化学部	地域文化学科	令和 9 年 2 月 25 日（木）	令和 9 年 3 月 12 日（金）
	生活デザイン学科	令和 9 年 2 月 25 日（木）	令和 9 年 3 月 13 日（土）
	生活栄養学科	令和 9 年 2 月 25 日（木）	令和 9 年 3 月 13 日（土）
	人間関係学科	令和 9 年 2 月 25 日（木）	令和 9 年 3 月 12 日（金）
	国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	令和 9 年 2 月 25 日（木）	令和 9 年 3 月 12 日（金）
人間看護学部	人間看護学科	令和 9 年 2 月 26 日（金）	令和 9 年 3 月 13 日（土）

(3)個別学力検査等時間割

前期日程選抜期日	令和9年2月25日(木)

学部等	試験時間および教科
	9:30 / 9:40 / 10:00 / 10:10 / 10:40 / 11:40 / 13:00 / 13:30 / 14:50 / 15:00 / 17:00
環境科学部 環境生態学科	試験説明 / 小論文(60)
環境科学部 環境社会システム学科	試験説明 / *数学(100) / 試験説明 / *英語(90)
環境科学部 環境建築デザイン学科	試験説明 / 数学(100)
工学部 材料化学科	試験説明 / 数学(100) / 試験説明 / 面接
工学部 機械システム工学科	試験説明 / 数学(100)
工学部 電子システム工学科	試験説明 / 数学(100)
人間文化学部 地域文化学科	試験説明 / 国語(90) / 試験説明 / 英語(90)
人間文化学部 生活デザイン学科 人間関係学科 国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	試験説明 / 国語(60) / 試験説明 / 英語(90)
人間文化学部 生活栄養学科	試験説明 / 英語(90)

＊ 環境科学部環境社会システム学科において「英語と数学」の2教科を選択した者は、必ず2教科とも解答すること。

前期日程選抜期日	令和9年2月26日(金)

学部等	試験時間および教科
	9:30 / 10:30 / 12:00 / 13:00 / 13:30 / 17:00
環境科学部 生物資源管理学科	試験説明 / 面接
人間看護学部 人間看護学科	試験説明 / 面接

(注)「試験説明」では注意事項を説明します。試験説明開始時刻までに、試験室に入室してください。

後期日程選抜期日	令和9年3月12日（金）

学　部　等	試験時間および教科 9:30　10:00　11:30　11:40　13:00　13:30　14:00　15:00　15:30　16:00　17:00
環境科学部 環境生態学科	試験説明 / 小論文(60)
環境科学部 環境社会システム学科	試験説明 / *数学(100) / 試験説明 / *小論文(90)
工学部 材料化学科	試験説明 / 数学(100) / 試験説明 / 面　接
工学部 機械システム工学科 電子システム工学科	試験説明 / 数学(100)
人間文化学部 地域文化学科 人間関係学科 国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	試験説明 / 小論文(120)

＊　環境科学部環境社会システム学科において「数学と小論文」の2試験科目を選択した者は、必ず2教科とも解答すること。

後期日程選抜期日	令和9年3月13日（土）

学　部　等	試験時間および教科 9:30　10:00　10:30　12:00　13:00　13:30　14:00　17:00
環境科学部 環境建築デザイン学科	試験説明 / 造形実技(120)
環境科学部 生物資源管理学科	試験説明 / 面　接
人間文化学部 生活デザイン学科	試験説明 / デッサン(180)
人間文化学部 生活栄養学科	試験説明 / 面　接
人間看護学部 人間看護学科	試験説明 / 面　接

（注）「試験説明」では注意事項を説明します。試験説明開始時刻までに、試験室に入室してください。

令和9年度　一般選抜の実施教科・科目等　表中の教科・科目名および注記事項等については、28ページに記載しています。

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験時間(分)	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	配点合計	共通テスト英語配点内訳
環境科学部 環境生態学科 入学定員　30 人 前 期　11 人 後 期　10 人	前期	国 地歴 公民 数 理 外 情	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1 (注2)(注3) 「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」 から1 (注2) 「物」,「化」,「生」,「地学」 から2 「英」(注1) 「情報Ⅰ」 [6教科7科目]	その他	小論文	60	大学入学共通テスト	100	100	150	400	200	50		1,000	リーディング 160 / リスニング 40
							個別学力検査等							200	200	
							計	100	100	150	400	200	50	200	1,200	
	後期	国 地歴 公民 数 理 外 情	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1 (注2)(注3) 「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」 から1 (注2) 「物」,「化」,「生」,「地学」 から2 「英」(注1) 「情報Ⅰ」 [6教科7科目]	その他	小論文	60	大学入学共通テスト	50	50	150	200	200	50		700	リーディング 160 / リスニング 40
							個別学力検査等							300	300	
							計	50	50	150	200	200	50	300	1,000	
環境科学部 環境社会システム学科 入学定員　40 人 前 期　16 人 後 期　12 人	前期	国 地歴 公民 数 理 外 情	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1 (注2)(注3) 「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」から1 と 「数Ⅱ,数B,数C」 「物基/化基/生基/地基」,「物」,「化」,「生」,「地学」 から1 (注2)(注3) 「英」(注1) 「情報Ⅰ」 [6教科7科目]	数 外	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」(注5) から1教科 ※ 「英語」(注6) ※2教科とも解答することができ,その場合は得点の高い教科を採用する。(注9)	100 90	大学入学共通テスト	100	100	200	100	100	50		650	リーディング 80 / リスニング 20
							個別学力検査等			*200		*200			200	
							計	100	100	*400	100	*300	50		850	
	後期	国 地歴 公民 数 理 外 情	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1 (注2)(注3) 「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」から1 と 「数Ⅱ,数B,数C」 「物基/化基/生基/地基」,「物」,「化」,「生」,「地学」 から1 (注2)(注3) 「英」(注1) 「情報Ⅰ」 [6教科7科目]	数 その他	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」(注5) から1教科 ※ 小論文 ※2試験科目とも解答することができ,その場合は得点の高い教科を採用する。	100 90	大学入学共通テスト	100	100	200	100	100	50		650	リーディング 80 / リスニング 20
							個別学力検査等			*400				*400	400	
							計	100	100	*600	100	100	50	*400	1,050	

令和9年度　一般選抜の実施教科・科目等　表中の教科・科目名および注記事項等については、28ページに記載しています。

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験時間(分)	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	実技	面接	配点合計	共通テスト英語配点内訳
環境科学部 環境建築デザイン学科 入学定員　50 人 前　期　25 人 後　期　15 人	前期	国 地歴公民 数 理 情 外	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1（注2）(注3) 「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」　から1（注2） 「物」と「化」,「生」,「地学」「情報Ⅰ」　から1（注4） 「英」（注1） ［5(6)教科6科目］	数	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」（注5）	100	大学入学共通テスト	100	100	100	*200 または #300	300	*100 または #0			900	リーディング 240 / リスニング 60
							個別学力検査等			200						200	共通テスト理科、情報配点内訳 物理 200 / 化学/生物/地学/情報 100
							計	100	100	300	*200 または #300	300	*100 または #0			1,100	
	後期	国 地歴公民 数 理 情 外	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1（注2）(注3) 「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」　から1（注2） 「物」,「化」,「生」,「地学」「情報Ⅰ」　から2 理、情の2教科から得点の高い科目2科目を採用します。ただし、理科から1科目の場合は第1解答科目に限ります。 「英」（注1） ［5(6)教科6科目］	その他	造形実技 （基礎造形，デッサンなどの実技により，空間に関わる理解力，構想力，創造力，構成力，表現力をみる。）	120	大学入学共通テスト	100	100	100	*100 または #200	100	*100 または #0			600	リーディング 80 / リスニング 20
							個別学力検査等							300		300	
							計	100	100	100	*100 または #200	100	*100 または #0	300		900	
環境科学部 生物資源管理学科 入学定員　60 人 前　期　30 人 後　期　18 人	前期	国 地歴公民 数 情 理 外	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1（注2）(注3) 「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」「情報Ⅰ」　から2（注2） 「物」,「化」,「生」,「地学」 から2 「英」（注1） ［5(6)教科7科目］	その他	面接（グループ） （当日の面接試験中に発表するテーマ（環境および生物資源に関連した内容）について、グループ討論の形式で行い、関連する学問分野への理解・思考力・判断力・協働性を総合的に評価する。）	30程度	大学入学共通テスト	200	100	*100 または #200	400	200	*100 または #0			1,100	リーディング 160 / リスニング 40
							個別学力検査等							400		400	
							計	200	100	*100 または #200	400	200	*100 または #0	400		1,500	
	後期	国 数 情 理 外	「国」 「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」「情報Ⅰ」　から1（注2） 「物」,「化」,「生」,「地学」 から1（注2） 「英」（注1） ［4教科4科目］	その他	面接（グループ） （当日の面接試験中に発表するテーマ（環境および生物資源に関連した内容）について、グループ討論の形式で行い、関連する学問分野への理解・思考力・判断力・協働性を総合的に評価する。）	30程度	大学入学共通テスト	100		*100	400	100	*100			700	リーディング 80 / リスニング 20
							個別学力検査等							400		400	
							計	100		*100	400	100	*100	400		1,100	

令和9年度　一般選抜の実施教科・科目等　表中の教科・科目名および注記事項等については、28ページに記載しています。

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験時間（分）	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	面接	配点合計	
工学部 材料化学科 入学定員　50 人 前　期　25 人 後　期　15 人	前期	国 地歴公民 数 理 外 情	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1（注2）（注3） 「数Ⅰ,数A」と「数Ⅱ,数B,数C」 「物」と「化」 「英」（注1） 「情報Ⅰ」 ［6教科8科目］	数 その他	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」（注5） 面接（グループ）（注8） （面接は、当日の面接試験前に発表するテーマ（化学に関連した内容）について、解答の記述を含んだグループ討論の形式で行い、化学および関連する学問分野への関心と理解・思考力・表現力・協働力を総合的に評価する。）	100 30程度	大学入学共通テスト	100	50	200	300	200	50		900	共通テスト英語配点内訳 リーディング：160　リスニング：40
							個別学力検査等			200				150	350	共通テスト理科配点内訳 物理：100　化学：200
							計	100	50	400	300	200	50	150	1,250	
	後期	国 地歴公民 数 理 外 情	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1（注2）（注3） 「数Ⅰ,数A」と「数Ⅱ,数B,数C」 「物」と「化」 「英」（注1） 「情報Ⅰ」 ［6教科8科目］	数 その他	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」（注5） 面接（グループ）（注8） （面接は、当日の面接試験前に発表するテーマ（化学に関連した内容）について、解答の記述を含んだグループ討論の形式で行い、化学および関連する学問分野への関心と理解・思考力・表現力・協働力を総合的に評価する。）	100 30程度	大学入学共通テスト	100	50	100	400	200	50		900	共通テスト英語配点内訳 リーディング：160　リスニング：40
							個別学力検査等			300				200	500	
							計	100	50	400	400	200	50	200	1,400	
工学部 機械システム工学科 入学定員　50 人 前　期　25 人 後　期　15 人	前期	国 地歴公民 数 理 外 情	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1（注2）（注3） 「数Ⅰ,数A」と「数Ⅱ,数B,数C」 「物」と「化」 「英」（注1） 「情報Ⅰ」 ［6教科8科目］	数	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」（注5）	100	大学入学共通テスト	100	50	150	300	150	50		800	共通テスト英語配点内訳 リーディング：120　リスニング：30
							個別学力検査等			200					200	共通テスト理科配点内訳 物理：200　化学：100
							計	100	50	350	300	150	50		1,000	
	後期	国 地歴公民 数 理 外 情	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1（注2）（注3） 「数Ⅰ,数A」と「数Ⅱ,数B,数C」 「物」と「化」 「英」（注1） 「情報Ⅰ」 ［6教科8科目］	数	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」（注5）	100	大学入学共通テスト	100	50	150	400	150	50		900	共通テスト英語配点内訳 リーディング：120　リスニング：30
							個別学力検査等			200					200	共通テスト理科配点内訳 物理：300　化学：100
							計	100	50	350	400	150	50		1,100	

令和9年度　一般選抜の実施教科・科目等　表中の教科・科目名および注記事項等については、28ページに記載しています。

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験時間（分）	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	配点合計	
工学部 電子システム工学科 入学定員　50 人 前　期　25 人 後　期　15 人	前期	国 地歴 公民	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1（注2）（注3）	数	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」（注5）	100	大学入学共通テスト	100	100	200	400	200	100		1,100	共通テスト英語配点内訳：リーディング 160／リスニング 40
		数	「数Ⅰ, 数A」と「数Ⅱ,数B,数C」				個別学力検査等			200					200	共通テスト理科配点内訳：物理 300／化学 100
		理 外 情	「物」と「化」 「英」（注1） 「情報Ⅰ」 ［6教科8科目］				計	100	100	400	400	200	100		1,300	
	後期	国 地歴 公民	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1（注2）（注3）	数	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」（注5）	100	大学入学共通テスト	100	100	200	300	200	100		1,000	共通テスト英語配点内訳：リーディング 160／リスニング 40
		数	「数Ⅰ,数A」と「数Ⅱ,数B,数C」				個別学力検査等			300					300	
		理 外 情	「物」と「化」 「英」（注1） 「情報Ⅰ」 ［6教科8科目］				計	100	100	500	300	200	100		1,300	
人間文化学部 地域文化学科 入学定員　60 人 前　期　30 人 後　期　18 人	前期	国	「国」	国	「現代の国語・言語文化・論理国語・古典探究」	90	大学入学共通テスト	100	200	*100	*100	100	*100		500	共通テスト英語配点内訳：リーディング 50／リスニング 50
		地歴 公民	「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から2（注3）　ただし「地総・地探」,「歴総・日探」,「歴総・世探」のうち少なくとも1科目を選択	外	「英語」（注6）	90	個別学力検査等	200				200			400	
		数 理 情	「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」 から1 「物基/化基/生基/地基」,「物」,「化」,「生」,「地学」から1 「情報Ⅰ」　数・理・情から1教科（注2）（注3）				計	300	200	*100	*100	300	*100		900	
		外	「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」 から1（注1） ［4（5）教科5科目］													
	後期	国 数 理 情	「国」 「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」 から1 「物基/化基/生基/地基」,「物」,「化」,「生」,「地学」から1 「情報Ⅰ」　国・数・理・情から1教科（注2）（注3）	その他	小論文	120	大学入学共通テスト	*100	200	*100	*100	100	*100		400	共通テスト英語配点内訳：リーディング 50／リスニング 50
		地歴 公民	「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から2（注3）　ただし「地総・地探」,「歴総・日探」,「歴総・世探」のうち少なくとも1科目を選択				個別学力検査等							200	200	
		外	「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」 から1（注1） ［3（4）教科4科目］				計	*100	200	*100	*100	100	*100	200	600	

令和9年度　一般選抜の実施教科・科目等　表中の教科・科目名および注記事項等については、28ページに記載しています。

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験時間(分)	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	実技	面接	配点合計	共通テスト英語配点内訳
人間文化学部 生活デザイン学科 入学定員　30 人 前期　12 人 後期　8 人	前期	国 地歴公民 数 理 情 外	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1（注2）(注3) 「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」 から1 「物基/化基/生基/地基」,「物」,「化」,「生」,「地学」から1 「情報Ⅰ」 数・理・情から2教科（注2）(注3) 「英」（注1） [5教科5科目]	国 外	「現代の国語・言語文化（近代以降の文章のみ）・論理国語」（注7） 「英語」（注6）	60 90	大学入学共通テスト	100	100	*100	*100	100	*100			500	リーディング 50 / リスニング 50
							個別学力検査等	200				200				400	
							計	300	100	*100	*100	300	*100			900	
	後期	国 地歴公民 数 理 情 外	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1 「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」 から1 「物基/化基/生基/地基」,「物」,「化」,「生」,「地学」から1 「情報Ⅰ」 国・地歴公民・数・理・情から3教科（注2）(注3) 「英」（注1） [4教科4科目]	その他	デッサン （形の表現力,観察力,創作力,理解力を,鉛筆描写によって総合的にみる。）	180	大学入学共通テスト	*100	*100	*100	*100	100	*100			400	リーディング 70 / リスニング 30
							個別学力検査等							300		300	
							計	*100	*100	*100	*100	100	*100	300		700	
人間文化学部 生活栄養学科 入学定員　30 人 前期　15 人 後期　9 人	前期	国 地歴公民 数 理 外 情	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1（注2）(注3) 「数Ⅰ,数A」と「数Ⅱ,数B,数C」 「物」,「化」,「生」 から2 「英」（注1） 「情報Ⅰ」 [6教科8科目]	外	「英語」（注6）	90	大学入学共通テスト	100	50	100	200	100	20			570	リーディング 80 / リスニング 20
							個別学力検査等					100				100	
							計	100	50	100	200	200	20			670	
	後期	国 地歴公民 数 理 外 情	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1（注2）(注3) 「数Ⅰ,数A」と「数Ⅱ,数B,数C」 「物」,「化」,「生」 から2 「英」（注1） 「情報Ⅰ」 [6教科8科目]	その他	面接（グループ） （与えられたテーマに関する討論）	30程度	大学入学共通テスト	100	50	200	200	200	20			770	リーディング 150 / リスニング 50
							個別学力検査等								100	100	
							計	100	50	200	200	200	20		100	870	

令和9年度　一般選抜の実施教科・科目等　表中の教科・科目名および注記事項等については、28ページに記載しています。

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験時間（分）	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	配点合計	共通テスト英語配点内訳
人間文化学部 人間関係学科 入学定員　30 人 前期　15 人 後期　9 人	前期	地歴公民 理 情 国 数 外	「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1 「物基/化基/生基/地基」,「物」,「化」,「生」,「地学」から1 「情報Ⅰ」 「国」 「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」 から1 「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」 から1 （注1） 地歴公民・理・情から2教科（注2）（注3） ［5教科5科目］	国 外	「現代の国語・言語文化（近代以降の文章のみ）・論理国語」（注7） 「英語」（注6）	60 90	大学入学共通テスト	100	*100	100	*100	100	*100		500	リーディング 80 / リスニング 20
							個別学力検査等	200				200			400	
							計	300	*100	100	*100	300	*100		900	
	後期	国 地歴公民 数 理 情 外	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1 「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」 から1 「物基/化基/生基/地基」,「物」,「化」,「生」,「地学」から1 「情報Ⅰ」 「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」 から1 （注1） 国・地歴公民・数・理・情から2教科（注2）（注3） ［3教科3科目］	その他	小論文	120	大学入学共通テスト	*100	*100	*100	*100	100	*100		300	リーディング 80 / リスニング 20
							個別学力検査等							200	200	
							計	*100	*100	*100	*100	100	*100	200	500	
人間文化学部 国際コミュニケーション学科 入学定員　50 人 前期　25 人 後期　15 人	前期	国 地歴公民 数 理 情 外	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1（注2）（注3） 「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」から1 「物基/化基/生基/地基」,「物」,「化」,「生」,「地学」から1 「情報Ⅰ」 「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」 から1 （注1） 数・理・情から1教科（注2）（注3） ［4教科4科目］	国 外	「現代の国語・言語文化（近代以降の文章のみ）・論理国語」（注7） 「英語」（注6）	60 90	大学入学共通テスト	100	100	*100	*100	250	*100		550	リーディング 125 / リスニング 125
							個別学力検査等	200				200			400	
							計	300	100	*100	*100	450	*100		950	
	後期	国 地歴公民 外	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1（注2）（注3） 「英」（注1） ［3教科3科目］	その他	小論文	120	大学入学共通テスト	100	100			250			450	リーディング 150 / リスニング 100
							個別学力検査等							200	200	
							計	100	100			250		200	650	

令和9年度　一般選抜の実施教科・科目等　表中の教科・科目名および注記事項等については、28ページに記載しています。

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験時間（分）	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	面接	配点合計	共通テスト英語配点内訳
人間看護学部 人間看護学科 入学定員　70人 前期　30人 後期　5人	前期	国 地歴公民	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1（注2）（注3）	その他	面接（グループ） （与えられたテーマに関する討論）	30程度	大学入学共通テスト	100	100	100	100	150	50		600	リーディング 100 / リスニング 50
		数	「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」から1（注2）				個別学力検査等							50	50	
		理	「物基/化基/生基/地基」,「物」,「化」,「生」から1（注2）（注3） **基礎を付した科目を選択解答する場合は、物基、化基、生基の3つの出題範囲から2つを選択解答してください**													
		外	「英」（注1）				計	100	100	100	100	150	50	50	650	
		情	「情報Ⅰ」 ［6教科6科目］													
	後期	国 地歴公民	「国」 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」　から1（注2）（注3）	その他	面接（グループ） （与えられたテーマに関する討論）	30程度	大学入学共通テスト	100	100	100	100	150	50		600	リーディング 100 / リスニング 50
		数	「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」から1（注2）				個別学力検査等							50	50	
		理	「物基/化基/生基/地基」,「物」,「化」,「生」から1（注2）（注3） **基礎を付した科目を選択解答する場合は、物基、化基、生基の3つの出題範囲から2つを選択解答してください**													
		外	「英」（注1）				計	100	100	100	100	150	50	50	650	
		情	「情報Ⅰ」 ［6教科6科目］													

＊特記事項

大学入学共通テストの利用教科・科目名の表記について

１ 利用教科名は次のように略しています。
国語→国、地理歴史→地歴、数学→数、理科→理、外国語→外、情報→情

２ 利用科目名は次のように略しています。
「国語」→「国」
「地理総合,地理探究」→「地総,地探」、「歴史総合,日本史探究」→「歴総,日探」、「歴史総合,世界史探究」→「歴総,世探」
「地理総合/歴史総合/公共」→「地総/歴総/公」、「公共,倫理」→「公,倫」、「公共,政治・経済」→「公,政・経」
「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」、「数学Ⅰ,数学A」→「数Ⅰ,数A」、「数学Ⅱ,数学B,数学C」→「数Ⅱ,数B,数C」
「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」→「物基/化基/生基/地基」、「物理」→「物」、「化学」→「化」、「生物」→「生」
「英語」→「英」、「ドイツ語」→「独」、「フランス語」→「仏」、「中国語」→「中」、「韓国語」→「韓」

３ 次の例のように利用科目名、利用方法を示しています。
［例］ 「物理」、「化学」、「生物」から1科目を選択 → 「物」,「化」,「生」 から1

大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等欄について

１ 配点に＊印または#印を付してある教科は選択教科を表します。
２ 大学入学共通テストの外国語の「英語」は「リーディング（100点満点）」と「リスニング（100点満点）」のそれぞれを各学科の傾斜配点に換算し、それらの合計を利用します。受験上の配慮事項によりリスニ
３ 2科目を科す教科の配点は、合計得点を表しており、表の右側の配点内訳欄に記載がない場合のそれぞれの配点は、均等とします。

入試過去問題活用宣言について

本学では、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学（提供大学）の入試過去問題を使用して出題する場合があります。また、入試過去問題を使用する際には、そのまま使用することも、一部改変することもあります。
「入試過去問題活用宣言」についての詳細および参加大学の一覧については、ホームページアドレス： https://www.nyushikakomon.jp にて公表しています。

注意事項

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

（注1） 外国語の「英語」は「リーディング」および「リスニング」です。（大学入試センターからリスニングを免除された者を除く）

（注2） 指定された教科（又は科目）の範囲内で、必要とする教科（又は科目）数を超えて受験している場合、得点の高い教科（又は科目）の得点を採用します。ただし、地理歴史・公民及び理科において受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

（注3） 「地総／歴総／公」や「物基／化基／生基／地基」にある“／ ”は，1つの出題科目の中で複数の出題範囲を選択解答することを表します。いずれも2つの出題範囲を選択解答することで1科目とします。なお、人間看護学部人間看護学科においては、地学基礎は選択の対象外とします。

（注4） 環境科学部環境建築デザイン学科（前期日程）において、理科を2科目選択し「物理」を第1解答科目で選択解答した場合、理科の第2解答科目と情報科目のいずれか得点の高い科目を採用します。また、「物理」を第2解答科目で選択解答した場合は、理科2科目の得点を採用します。

【個別学力検査等】欄

（注5） 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは、全範囲から出題します。数学Bは「数列」から、数学Cは「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。

（注6） 外国語「英語」は英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理表現Ⅰ、論理表現Ⅱ、論理表現Ⅲの6科目を出題範囲とします。

（注7） 人間文化学部生活デザイン学科、人間関係学科および国際コミュニケーション学科における「国語」の出題範囲には古典（古文、漢文）を含みません。

（注8） 工学部材料化学科における面接の得点率が40%未満の者は、大学入学共通テストの成績および個別学力検査等（数学）の成績にかかわらず、不合格とすることがあります。

（注9） 環境科学部環境社会システム学科は、出題時に英語または数学のいずれか1教科を選択して解答することとしますが、2教科とも選択・解答することができ、その場合は得点の高い教科を採用します。ただし、2教科選択者がいずれか1教科でも欠席した場合、その者は入学者選抜から除かれます。

３　出願手続

(1) 出願方法

出願は、インターネット出願により行います。インターネットの出願の登録と入学検定料の支払いを行った後に、出願書類を書留速達郵便で郵送してください。
出願方法は、40 ページ以降の「インターネット出願の流れ」をご確認ください。

【注　意】
※出願の登録と検定料の支払いだけでは出願手続きは完了しません。出願書類を出願期間内に到着するように送付する必要があります。

※インターネット出願の登録と入学検定料の支払いは、**令和９年１月 18 日（月）９時から可能です。**
※インターネットによる出願が困難で、紙媒体での出願を希望される場合は、滋賀県立大学教務課入試室（TEL:0749-28-8217・8243）に相談してください。

(2) 出願期間

試 験 区 分	出　願　期　間
前 期 日 程 後 期 日 程	**令和９年１月２５日（月）～２月３日（水）（必着）**

※**最終日必着（消印有効ではありません）**のため、郵送期間を十分考慮の上、送付してください。ただし、**２月１日（月）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り、期間後に到着した場合でも受け付けします。**

※郵送では書類が到着しないおそれがある場合、**出願期間最終日の２月３日に限り、持参を認めます。持参による出願書類の受付時間は、午後１時～午後５時までとし、出願書類提出先（滋賀県立大学　教務課入試室（Ａ１棟２階）に提出してください。**

(3) 入学検定料

入学検定料　１７，０００円（別途、支払手数料が必要です。）

検定料は、インターネット出願サイトより、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局、銀行 ATM（ペイジー対応）、ネットバンキングのいずれかの方法で行ってください。それぞれの支払い方法に関する詳細は、「インターネット出願サイト」をご確認ください。

※大規模災害により入学検定料免除の措置を希望される方は、事前に申請が必要となりますので、滋賀県立大学教務課入試室（TEL:0749-28-8217・8243）に相談してください。

※検定料の返還については、32 ページの（8）出願手続上の注意事項⑨に記載しています。

(4) 出願書類

志願者は**「出願書類提出用封筒」**に次の書類をとりそろえて提出してください。

＊出願書類提出用封筒

本学の「インターネット出願サイト（https://e-apply.jp/ds/usp/）」より出願し、入学検定料の支払いを行った後、マイページから「出願書類提出用宛名シート」を出力して、市販の角形２号封筒（24ｃｍ×33.2ｃｍ）に貼り付けて作成して下さい。

なお、本学の前期日程と後期日程を併願する場合は、試験日程別に封筒を作成して、それぞれ別々に郵送してください。

出　願　書　類		作成方法等
Ａ票	入学志願票	①本学の「インターネット出願サイト」でマイページ登録後に、出願登録を行って下さい。写真は、インターネット出願サイトにて出願３カ月以内に正面向上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードして下さい。 **※入学検定料の支払い後は登録内容の変更ができないため、入学検定料支払いに進む前に、記載内容に誤りがないか必ず確認して下さい。** ②出願内容に誤りがないことを確認した後、申込登録を完了し、入学検定料の支払いへ進んでください。 支払い方法は、「支払い選択」画面で確認してください。 ③入学検定料支払い後、マイページに表示される「志願票印刷」ボタンがクリック可能になりますので、Ａ４サイズの用紙に片面で印刷して下さい。
	大学入学共通テスト成績請求チケット	成績請求情報の手続きには「Web 方式」と「チケット方式」の２つの方式があり、本学は**「チケット方式」のみ取り扱います。** 大学入試センターの共通テスト出願サイトから「成績請求チケット」の発行手続きを行い印刷した後、**切り取った成績請求チケットをＡ票「入学志願票」の所定欄に貼り付けてください。** 前期日程に出願する場合は、「国公立前期日程用」を、後期日程に出願する場合は、「国公立後期日程用」を貼り付けてください。
Ｂ票	志望理由書	本学所定の様式により志願者本人が作成してください。 作成にあたっては、手書きまたはＰＣ等による入力のどちらでも構いません。 （様式は、本学入試情報のホームページからダウンロードし、Ａ４サイズで印刷して下さい）https://www.usp.ac.jp/nyushi/senbatsuyoukou/ippansenbatu/
調査書 （成績を証する書類） **※前期日程と後期日程の両方に出願する場合は、試験日程ごとに提出が必要です**		文部科学省の所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 ただし、 関係法令により書類の保存期間を超えたため、あるいは廃校・被災その他の事情により出身学校長の調査書が得られない場合は、卒業証明書および成績証明書または成績通信簿、その他調査書に代わる書類を添えて提出してください。 出願資格が 17 ページ「１出願資格」の「(３)⑤」に該当する者は、その合格（見込）成績証明書を提出してください。また、大学入学資格検定（平成 16 年度まで実施）に合格している者は、その合格成績証明書を提出してください。なお、一部免除科目のある者は、出身学校長の作成した調査書または成績証明書も提出してください。

	出願資格が 17 ページ「1 出願資格」の「(3)⑥」に該当する者は、調査書および「滋賀県立大学入学資格認定書」の写しを提出してください。 17 ページの「１出願資格」の（３）の①～④のいずれかにより出願する者の調査書に代わる提出書類については、本学入学試験実施本部（0749-28-8217）まで問い合わせてください。 **※前期日程および後期日程の両方を出願する者はそれぞれ１通（合計２通）必要です。**

注１）「出願書類提出用宛名シート」およびＡ票「入学志願票」は、志願者登録後、入学検定料決済を行った後にダウンロード可能となります。

注２）「出願書類提出用宛名シート」およびＡ票「入学志願票」は、カラー印刷が望ましいですが、できない場合はモノクロ印刷でも可とします。

(5)願書提出先および入試に関する問合せ先

〒522-8533　滋賀県彦根市八坂町 2500
滋賀県立大学　入学試験実施本部（事務局　教務課入試室）
（TEL:0749-28-8217・8243）

(6)インターネット出願サイトの操作方法に関する問合せ先

「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター（運用会社：株式会社キャリタス）
（TEL：0120-20-2079）

(7)障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等がある入学志願者で、受験上および修学上の配慮を希望する場合は、下記によりあらかじめ滋賀県立大学入学試験実施本部まで連絡し、相談してください。

①相談の時期　令和 8 年 12 月 14 日(月)まで（できるだけ早い時期に相談してください）
※12 月 15 日（火）以降においても可能な限り対応しますが、受験上の配慮の内容が試験準備等に時間を要する場合もありますので、できるだけ 12 月 14 日（月）までに相談してください。

②相談の方法　次の連絡先に連絡の上、協議申請書(大学入試センターから「受験上の配慮事項決定通知書」の交付を受けた者は、その写しで、診断書等必要書類を添付したもの)を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者またはその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。

③連　絡　先　〒522-8533　滋賀県彦根市八坂町 2500
滋賀県立大学 入学試験実施本部（TEL:0749-28-8217・8243）

(8)出願手続上の注意事項

①　出願に際し、本学が指定している「大学入学共通テスト利用教科・科目」(21～28 ページ参照)を受験していることを、必ず確認してください。

特に、**大学入学共通テストの「地理歴史」、「公民」および「理科」について、受験科目を１科目と指定している学科を出願する場合、２科目受験した者は、第１解答科目の得点を採用しますので注意してください。**

なお、大学入学共通テストで指定した教科・科目（英語はリスニングテストを含む。）を受験しなかった者は、出願しても失格となり、合格者となることができません。

② 前期日程、後期日程の両方に出願することは、差し支えありません。

③ **環境科学部環境社会システム学科の前期日程**の個別学力検査は、出願時に英語または数学のいずれか１教科を選択して解答することとしますが、２教科とも選択・解答することができ、その場合は得点の高い教科を採用します。ただし **２教科選択者がいずれか１教科でも欠席した場合、その者は入学者選抜から除かれます。**

④ **環境科学部環境社会システム学科の後期日程**の個別学力検査は、出願時に小論文または数学のいずれか１試験科目を選択して解答することとしますが、２試験科目とも選択・解答することができ、その場合は得点の高い科目を採用します。ただし **２試験科目選択者がいずれか１科目でも欠席した場合、その者は入学者選抜から除かれます。**

⑤ 本学の前期日程と他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の前期日程との併願および本学の後期日程と他の国公立大学の後期日程との併願はできません。

⑥ 必要な書類がすべてそろっていない場合には受け付けないので、出願の際には十分確認してください。また、**郵送にかかる所要日数を十分に考慮して発送してください。**

⑦ 以下に出願時の不備について、例年多く見受けられるものを列挙します。
ご確認いただき、十分確認したうえで出願してください。

［不備の例］
- インターネットで出願登録する際に、前期・後期を誤って登録してしまった。
- Ｂ票（志望理由書）を提出するのを忘れた。
- Ｂ票（志望理由書）について、「一般選抜用」ではなく、「特別選抜用」の様式で提出してしまった。
- Ｂ票（志望理由書）について、志望理由が１枚に収まっていない。（必ず様式１枚の中に収めてください。）
- Ａ票に貼付する大学入学共通テストの成績請求チケットについて、前期用・後期用を誤って貼付してしまった。
- 前・後期の両日程を出願する際に、調査書を１通しか同封しなかった。（それぞれの封筒に１通ずつ、合計２通提出いただく必要があります。）

※不備のある出願書類は受け付けできません。出願期間内に不備を補完できない場合、出願を認めないことがありますので、ご注意願います。

⑧ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。

⑨ **出願受付後には出願事項の変更は認めません。**ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合には、滋賀県立大学入学試験実施本部まで連絡してください。

⑩ 一度正式に受付をした出願書類および受領した入学検定料は、理由のいかんを問わず返還しません。ただし、次の(ｱ)～(ｳ)に該当する者は、入学検定料の一部または全部を返還しますので、大学にその旨を申し出て、所定の返還手続をしてください。
(ｱ)本学の指定する大学入学共通テスト利用教科・科目を受験していないことが判明した者
(ｲ)入学検定料を振り込んだ者で、出願期間内に出願書類を提出しなかった者
(ｳ)入学検定料を誤って二重に振り込んだ者

４　受験票のダウンロードおよび印刷

出願書類受理後、受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したメールアドレスへ通知メールを送信します。**インターネット出願サイトにログインし受験票をダウンロードして、印刷のうえ試験当日に持参してください。**（**Ａ４片面、ページの拡大・縮小はしない。**）本学から受験票を郵送することはありません。

試験日の 3 日前となってもインターネット出願サイト上でデジタル受験票がダウンロードできない場合や受験票の記載内容が出願登録した内容と異なっている場合は、本学教務課入試室（電話 0749-28-8217）まで問い合わせてください。

メールが届かない場合でも、インターネット出願サイトにログインし受験票を印刷してください。

インターネットに出願登録した際の受付番号は受験番号ではありません。

当日に受験票を忘れた者は、速やかに試験実施本部で受験票の交付又は指示を受けてください。

受験票は入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。

５　試験場

前期日程および後期日程の試験は、本学キャンパスで行います。ただし、志願者数の状況によっては、一部変更することがあります。

６　受験上の注意事項

①　試験当日は、**「大学入学共通テスト受験票」**および**本学の「受験票」**の両方を必ず持参してください。また、本学ウェブサイトに掲載する**「受験上の注意事項」**を必ず印刷して内容を確認し、試験当日に持参してください。「受験上の注意事項」には試験場案内図、試験室、集合時間等を記載します。

○「受験上の注意事項」掲載　本学ウェブサイト

https://www.usp.ac.jp/nyushi/senbatsuyoukou/Exam_Guidelines.index.html

②　**上記「受験上の注意事項」には、不正行為に関する注意事項も記載します。**

当日に試験監督者が行う注意事項説明、また、配布される問題冊子・解答冊子に記載の注意事項と併せて厳守してください。

なお、不正行為と認定された場合は、それ以降の受験はできず、入学者選抜の対象から除きます。また、警察への被害届の提出を含めて厳正に対処することとします。

③　受験者は、**試験説明開始時刻までに**指定された試験室(面接の場合は受験者控室)に入室、着席してください。

④　学力検査開始後は、**30 分以内の遅刻に限り受験を認めますが、検査時間の延長は行いません。**

⑤　**学力検査を１教科でも受けなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。**

⑥　受験票は、学力検査時に指示に従って、試験監督員に明示できるよう机上に置いてください。

⑦　当日に受験票を忘れた者は、速やかに入学試験実施本部で仮受験票の交付を受けてください。また、受験票は、入学手続き、成績開示請求の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。

⑧　**学力検査（実技検査を含む。）**時間中に机の上に置けるものは、受験票、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけを取り出したもの）、目薬、黒鉛筆（シャープペンシルも可）、鉛筆キャップ、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能のみのもの）に限ります。

⑨　**実技検査（環境建築デザイン学科の造形実技、生活デザイン学科のデッサン）**は、デッサン用ボード(Ｂ３サイズ)に黒鉛筆を用いて描写する方法により行います。したがって、受験する者は**デッサン用鉛筆(２Ｂ、３Ｂまたは４Ｂが適当)を持参**してください。また、**ねり消しゴム、**

鉛筆削りとしてのカッター、消しゴムの消しかすを払う羽根ぼうきおよび製図用ブラシの使用も認めます。

⑩　試験室内での受験者間の物品の貸借は、一切認めません。

⑪　体調不良や音を立てるなど他の受験生に影響があると判断される場合は、別室受験等の措置を行います。但し、環境科学部生物資源管理学科、工学部材料化学科、人間文化学部生活栄養学科、人間看護学部人間看護学科の面接試験は、グループ面接に代えて、個別面接とします。

⑫　試験場の近くには、飲食店はほとんどありません。**各自昼食を持参してください。**

⑬　試験場、バス停、駅、その周辺で合否連絡・下宿案内等と称して個人情報を収集し、場合によっては金銭を要求していることがありますが、**滋賀県立大学ではそのような行為は一切行っていないので注意してください。**

トラブル等が生じても滋賀県立大学とは一切関係がなく、責任を負えません。

⑭　２月 24 日、３月 11 日の午後に限り、試験場の下見はできますが、建物内への立入はできません。

⑮　**自然災害や人為災害、感染症の全国的な拡大等による不測の事態により、試験日時や選抜方法等を変更する場合があります。**

その際は、大学ウェブサイト（https://www.usp.ac.jp/）**への掲載等によりお知らせしますので、大学からの情報発信に留意して下さい。**

７　合格発表

(1) 発表期日

前期日程：　令和９年３月　８日(月)　午前９時００分

後期日程：　令和９年３月２０日(土)　午前９時００分

(2) 発表方法等

本学ウェブサイトに合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書および入学手続書類をレターパックで送付します。（大学構内での合格者受験番号の掲示は行いません。）なお、電話等による合否の問い合わせには応じません。

合格者で合格通知書および入学手続書類が、前期日程では３月 11 日（木）、後期日程では３月 25 日（木）までに届かない場合は、入学試験実施本部まで連絡してください。

レターパックの不着または遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。

(3) 追加合格

入学手続締切の結果、学部・学科の募集人員に欠員が生じた場合には、追加合格を認めることがあります。追加合格を行う学科については、３月 27 日（土）の午後６時以降に大学ウェブサイトで発表します。

追加合格を認める場合には、**３月 28 日(日)の午前８時から順次、該当者に対して志願票に記載された電話番号により照会します。**直接本人から入学の意志を確認しますので、必ず連絡がとれるようにしておいてください。**最初の電話から１時間以内に約 10 分おきに計６回電話を掛けても連絡がとれない場合は、追加合格の権利を放棄したものとして取り扱いますので、注意してください。**追加合格の入学手続は、その際に指示します。追加合格者が全て確定した場合は、直ちに大学ホームページで発表します。

８　試験結果の簡易開示

「公立大学法人滋賀県立大学の保有する個人情報の保護等に関する規程」に基づき、受験者本人が以下の事項の個人別成績を簡易開示請求することができます。

・総合得点およびその順位

(1) 請求できる者

受験者本人に限る。（代理人の請求は認めません。）

(2) 請求期間

前期日程：令和９年３月９日（火）から３月 11 日（木）および３月 14 日（日）の４日間
後期日程：令和９年３月 21 日（日）から令和９年３月 25 日（木）までの５日間
※受付時間は、午前９時から午後５時まで（午前 11：30～午後 0:30 を除く）。

(3) 請求方法

受験者本人が**本学の受験票**を持参の上、本学教務課入試室（Ａ１棟２０１室）にて請求してください。　※簡易開示請求では、郵送での請求は認めません。

(4) 開示方法

開示内容を本学教務課入試室にて閲覧することができます。

９　試験結果の一般開示

自己の試験結果の開示を希望する者は、以下の事項の個人別成績を一般開示請求することができます。

① 大学入学共通テストの科目別得点（素点）、本学利用得点
② 個別学力検査の科目別得点（面接を含む）およびその合計
③ 総合得点およびその順位

(1) 請求できる者

受験者本人に限る。（代理人の請求は認めません。）

(2) 請求期間

令和９年４月１日（木）から令和９年５月 28 日（金）まで
※郵送の場合は、５月 28 日の消印があるものまで受け付けます。
※直接来学の場合の受付時間は、土日祝日を除く平日の午前９時から午後５時まで（午前 11：30～午後 0:30 を除く）。

(3) 請求方法

次の書類を受験生本人が本学教務課入試室に郵送または直接持参してください。

① **「令和９年度入学者一般選抜成績開示請求書」**（本募集要項次ページを使用し、必ず受験生本人が記入してください。）
② 本学の**受験票**（成績個票送付時に返却します。）
③ 返信用のレターパック（レターパックライトまたはプラスのいずれでも可。）

※前期・後期ともに受験され、両方の成績開示をされる場合、返信用のレターパックは１つで結構です。

(4) 開示方法

開示内容を転記した成績個票を、**令和９年４月 22 日以降に順次送付します。**（直接来学して請求した場合でも、成績個票は後日郵送します。）

＜請求および問い合わせ先＞

〒522-8533　滋賀県彦根市八坂町 2500
滋賀県立大学教務課入試室　(TEL:0749-28-8217・8243)

※受理日	年　　月　　日
※発送日	年　　月　　日

※記入不要

令和９年度入学者一般選抜成績開示請求書

年　　月　　日

滋賀県立大学長　宛

（請　求　者）

住　　所	（〒　　－　　）		
フリガナ			
氏　　名			
生年月日	昭和 平成　　年　　月　　日	電話番号	－　　－

下記入学試験に係る私の個人別成績の開示を請求します。

記

令和９年度滋賀県立大学入学者一般選抜		試験日程	前期　・　後期
本学の受験番号	前期日程		
	後期日程		
大学入学共通テスト試験場コード・受験番号		－　　－	
受験した学部・学科名	前期日程	学部　　学科	
	後期日程	学部　　学科	

※「試験日程」欄は、前期日程を請求する場合は「前期」を、後期日程を請求する場合は「後期」を、両方請求する場合にはどちらにも○で囲んでください。
　なお、両方請求するときは本学受験票（原本）も両方とも必要となります。
※「受理日」、「発送日」欄は、記入不要です。

Ⅳ　入学手続、初年度納付金等

1　入学手続

(1) 入学手続期間

前期日程：令和９年３月　９日（火）から令和９年３月１５日（月）まで　（必着）

後期日程：令和９年３月２３日（火）から令和９年３月２７日（土）まで　（必着）

(2) 入学手続方法

①　入学手続に必要な書類は、合格発表後に直接本人あてに郵送します。**（手続の際、「本学の受験票」および「国公立大学入学確認票」の提出、入学料の納付（38 ページの２（１）を参照）が必要です。）**

②　提出は、**原則「書留速達扱い」による郵送とし、手続期間の最終日必着とします。（最終日消印有効ではありません。）**

なお、各手続期間の最終日の前日と最終日の２日間に限り午前９時から午後５時まで（午前 11:30～午後 0：30 を除く）持参での提出を受け付けます。

(3) 入学手続に必要な提出書類等（詳細は、合格通知の際にお知らせいたします。）

①　**誓約書**（本学所定の様式）
②　**保証書**（本学所定の様式）
③　**卒業証明書または修了証明書**（出願時に卒業見込みまたは修了見込みで受験した者の場合のみ提出。）
④　**入学料振込確認票**（指定の振込用紙で金融機関振込後の振込金受領証明書を貼付）
⑤　**学生証用写真**（カラー、正面上半身無帽、背景なし）
⑥　**住民票**[本籍、マイナンバーの記載されていないもの]
（滋賀県内の者としての入学料の適用を受ける場合のみ提出。入学料については、38 ページの２（１）を参照））
⑦　滋賀県立大学の**受験票**
⑧　大学入試センターが発行する**「国公立大学入学確認票」**

(4) 入学手続先

〒522-8533　滋賀県彦根市八坂町 2500
滋賀県立大学 入学試験実施本部　（電話 0749-28-8226）

(5) 入学手続上の注意事項

①　入学手続案内が到着次第、速やかに開封し、準備を進めてください。
必要な書類がすべてそろっていない場合には受け付けないので、書類の提出の際には十分確認してください。**（入学料を納付しただけでは、入学手続きを完了したことにはなりません。）**

入学手続期間を過ぎて到着したものは受け付けません。

受付期限（最終日 17：00）を十分に考慮して手続きをおこなってください。

②　**入学手続期間内に入学手続を完了しなかった者については、入学を辞退したものとして取り扱います。**
③　一度受け付けをした入学手続書類および入学料は、理由のいかんを問わず返還しません。

(6) その他の留意事項

① 前期日程試験に合格し、入学手続を行った者は、公立大学中期日程試験を受験していても合格者となることはできません。また、他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）の後期日程試験を受験しても合格者となることはできません。

② １つの国公立大学・学部に入学手続を行った者は、これを取消して他の国公立大学・学部に入学手続を行うことはできません。

③ 他の国公立大学の学校推薦型選抜・総合型選抜の合格者は、本学に出願しても合格者となることはできません。

ただし、入学辞退について、当該大学の許可を得た場合はこの限りではありません。

２ 初年度納付金

(1) 入学料

入学手続の際には、次の金額の入学料を所定の用紙により納付する必要があります。

① 滋賀県内の者 **２８２，０００円**

② 上記以外の者 **４２３，０００円**

（注） 滋賀県内の者とは、次の各号のいずれかに該当する者をいいます。

ア 入学の日の１年前（令和８年４月１日）から引き続き滋賀県内に住所を有する者

イ 入学の日の１年前（令和８年４月１日）から引き続き滋賀県内に配偶者または１親等の親族(生計を一にする者に限る)が住所を有する者

入学前に「高等教育の修学支援新制度」の申請をした者については、入学手続き時の入学料納付を猶予し、入学後に免除の割合に応じた入学料を納付していただきます。

免除区分	免除割合	入学料納付額	
		①滋賀県内の者	②左記以外の者
第Ⅰ区分	全額	0 円	141,000 円
第Ⅱ区分	2/3 免除	94,000 円	235,000 円
第Ⅲ区分	1/3 免除	188,000 円	329,000 円
第Ⅰ～Ⅳ区分（多子世帯） 多子世帯	全額	0 円	141,000 円

制度の詳細については、文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度」をご覧ください。【URL】 https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

(2) 授業料

① 年 額 **５３５，８００円**(令和８年度の額であり、改定されることがあります。)
なお、在学中に授業料が改定された場合には、改定後の授業料が適用されます。

② 納付方法 入学後、前期、後期の２回に分けて原則として口座からの引落により納付してください。

③ 納付時期 前期 ５月 27 日、後期 11 月 27 日（口座引落日）
引落日が金融機関の休業日にあたる場合は、翌営業日が口座引落日となります。
引落口座の登録は、入学後にWeb 口座振替受付ページからネット経由で登録を行っていただきます。

(3) 後援会費

入学手続の際に、後援会費（**４年間分 50,000 円**）を所定の振込用紙により納付してください。

(4) 同窓会費

入学手続の際に、同窓会費(**終身会費 10,000 円**)を所定の振込用紙により納付してください。

3　その他

(1)授業料等減免および給付奨学金

令和 2 年 4 月から、「大学等における修学の支援に関する法律」に基づき、修学支援新制度が始まりました。本学は、修学支援新制度の対象機関に認定されています。

高等教育の修学支援新制度は、次の 2 つの支援からなります。

・給付奨学金（原則返還不要の奨学金）

・授業料等の減免（授業料と入学料の免除または減額）

なお、令和 7 年度から、修学支援新制度の多子世帯支援拡充により、多子世帯は所得に関係なく、授業料等無償化となりました。

制度の詳細については、以下ウェブサイトでご確認ください。

・高等教育の修学支援新制度（文部科学省ウェブサイト）
https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm

・日本学生支援機構給付奨学金（日本学生支援機構ウェブサイト）
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html

・進学資金シュミレーター（日本学生支援機構ウェブサイト）
https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/

(2) 日本学生支援機構が貸与する奨学金

奨学生の決定は、学内で出願者の資格審査後、該当者を推薦し、日本学生支援機構が行います。

種　類	貸 与 月 額	
第一種奨学金 （無利子）	自宅通学	自宅外通学
	20,000 円・30,000 円 45,000 円	20,000 円・30,000 円 40,000 円・51,000 円
第二種奨学金 （有利子）	20,000 円 ～ 120,000 円　（10,000 円刻み）	

※他に入学時特別増額貸与奨学金（10 万円・20 万円・30 万円・40 万円・50 万円）があります。

(3) 学生教育研究災害傷害保険

通学途中を含む正課の授業や課外活動中の事故等によって生じた傷害を補償する保険です。保険料は後援会から一括して支払われ、自動的に全員加入となります。

(4) 留学費用

一定の条件のもとに海外への留学者を経済的に支援する制度があります。

(5) 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

入学料、授業料、教科書代、アパートの敷金・家賃など、入学時や在学時に必要となる資金を融資する公的な制度として、「国の教育ローン」があります。融資金額は、学生・生徒 1 人につき 350 万円以内、返済期間は 18 年以内です。

詳しくは、「国の教育ローン」ホームページ（https://www.jfc.go.jp/）またはコールセンター（0570-008656(ナビダイヤル)）まで問い合わせてください。

(6) 人間文化学部生活栄養学科、人間看護学部人間看護学科入学者を対象としたワクチン接種について

医療施設における実習に備え、入学後に各種感染症の抗体価検査を実施します。陰性の場合にはワクチン接種（自費）が必要となりますので、ご承知おきください。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです

STEP 1 事前準備 → STEP 2 出願サイトにアクセス → STEP 3 マイページの登録 → STEP 4 出願内容の登録 → STEP 5 入学検定料の支払い → STEP 6 出願書類の印刷 → STEP 7 出願書類の郵送 → STEP 8 出願完了 → 受験票の印刷

STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。（スマートフォン、タブレットは非推奨）
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。



※必要書類…調査書、写真データ、大学入学共通テスト成績請求チケット（成績請求チケットは1月22日以降に発行できます）など

STEP 2 インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ **https://e-apply.jp/ds/usp/**

または、

大学ホームページ ▶ **https://www.usp.ac.jp/**

からアクセス



STEP 3 マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は **マイページ登録** から ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信 >** を クリックしてください。



③ユーザー登録画面から **ログインページへ** を クリックしてください。



④登録したメールアドレスに 初期パスワードと 本登録用URLが届きます。

※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から 登録したメールアドレスと④で 届いた『初期パスワード』にて **ログイン** を クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を 行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して **次へ** を クリックしてください。



⑧個人情報を確認して **この内容で登録する** を クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、出願手続きを行う ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので ログアウト ボタンをクリックしてください。

STEP 4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報（氏名・住所等）の
入力



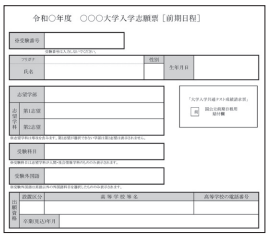
⑥出願内容の確認



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
（イメージ）
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号メモ（13桁）													

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済番号メモ（11桁）										

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号メモ（11桁）											
確認番号メモ（6桁）											
収納機関番号（5桁）	5	8	0	2	1						

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元（@e-apply.jp）からのメール受信を許可してください。　※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP 5

入学検定料*の支払い

＊入学検定料（17,000円）の他に受験票郵送料や振込手数料を併せて支払います。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン
デイリーヤマザキ
セイコーマート

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi
LAWSON
MINISTOP
マルチコピー機
FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

Pay-easy

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン

店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「払込票番号（13桁）」を伝える
レジで検定料を現金で支払う※
領収書（レシート形式）を必ず受け取る

デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー

店頭レジ
レジで「オンライン決済」と伝える
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える

ローソン ミニストップ

Loppi
「各種番号をお持ちの方」を選択
「お客様番号（11桁）」入力
「マルチペイメントサービス」を選択
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う※
申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。

ファミリーマート

マルチコピー機
「代金支払い/チャージ（コンビニでお支払い Payment/Charge）」を選択
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認

払込受領証または受領書（レシート形式）を必ず受け取る

セイコーマート

店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
レジで検定料を現金で支払う※

4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM

ペイジー対応銀行ATM
「税金・料金払い込み」などを選択
収納機関番号「58021」を入力
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う※
ご利用明細書を必ず受け取る

※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP 6

出願書類の印刷

(1) マイページに表示された 志願票(印刷) のボタンを
クリックしてください。
(2) お支払いが正常に完了すると 志願票(印刷) のボタンが
クリックできるようになりWeb志願票の出力ができます。



STEP 7

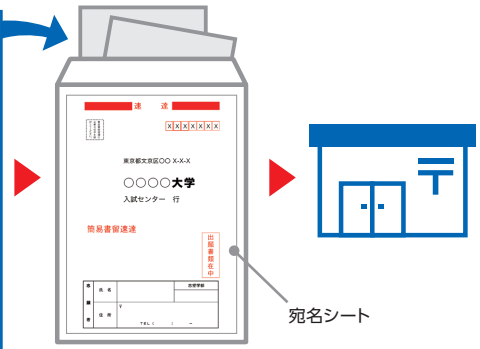
出願書類の郵送

＊登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願に必要な書類を出願期間内に郵便局窓口から**「書留速達」**で郵送してください。

出願書類

- **●入学志願票(A票)**
- **●大学入学共通テスト成績請求チケット**
  ※入学志願票(A票)の所定の欄に貼付してください。
  「別日程用」や「私立・短期大学用」の請求票を貼付される不備があります。そのような場合は受け付けできませんので、必ず、出願される日程の請求票が貼付されていることを確認してください。
- **●志望理由書(B票)**
  ※提出忘れが多いので特に注意してください。
- **●調査書**



出願書類提出用封筒宛名シート

市販の角形2号封筒(24㎝×33.2㎝)に
貼り付けて作成(出願書類を持参される
場合も必ず貼り付けて作成してください)

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、出願書類を郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了しませんので注意してください。

出願期間最終日の出願登録,入学検定料の支払は、17時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)までとなりますが、出願書類の郵送は各募集要項で定められた期間内に到着するよう、ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 8

受験票の印刷

本学で出願書類を受理した後、受験票のダウンロードが可能になりましたら、メールにて出願サイトに登録したメールアドレスへ通知します。インターネット出願システムより受験票をダウンロード後、必ず印刷し、試験当日持参してください。

【印刷に関する注意事項】受験票は必ずA4用紙に**片面印刷**にしてください。



大学周辺マップ

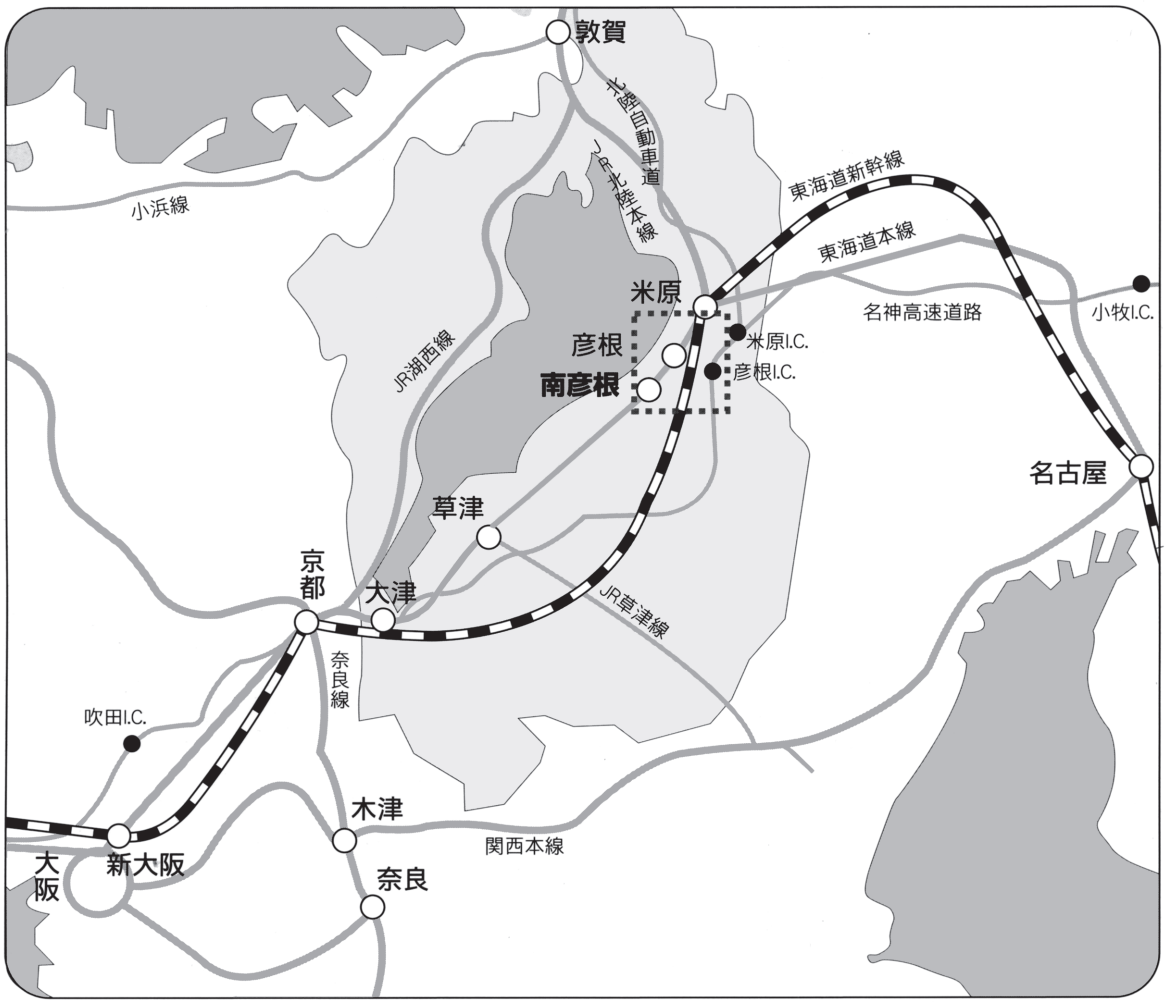
交通案内

●JR 南彦根駅からバスで約 15 分
（南彦根駅西口：南彦根県立大学線）

●JR 彦根駅からバスで約 25 分
（彦根駅：彦根県立大学線）

●名神彦根 IC から大学まで
車で約 20 分（6.5km）





公立大学法人
滋賀県立大学
THE UNIVERSITY OF SHIGA PREFECTURE
〒522-8533　滋賀県彦根市八坂町 2500
Tel.0749-28-8217・8243　Fax.0749-28-8267
ホームページアドレス　https://www.usp.ac.jp/
E-mail:nyushi@office.usp.ac.jp